



みどりを育む

# 横造協だより



発行 Vol.23  
 社団法人 横浜市造園協会  
 広報委員会  
 横浜市中区尾上町1-6 住友生命横浜関内ビル7階  
 TEL 045-662-9897 FAX 045-664-5633  
 http://www.yokohamashizen.or.jp



旧伊藤博文金沢別邸外観(金沢区)

「樹林地を守る」「農地を守る」「緑を守る」

22年度も、心掛けてまいりました。

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」



アメリカ山公園(中区)

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

しかし、都市化の進展により、市内の緑は大きく減少してきています。

そこで21年4月、本市は、

「緑の10大拠点」

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## 「緑豊かなまち横浜」を次世代へ



横浜市長 林 文子

## 2年目の飛躍

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## 横浜みどりアップ計画

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## はじめに

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## 世界的、総合的な視野でみどり施策に取り組み

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## おわりに

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## 〈略歴〉

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」

## 1946年東京都生まれ。都立青山高校卒業後、東レ、松下電器などを経てホンダの販売店へ。その後87年にBMW東京入社。新宿支店長に抜擢され、98年に中央支店長に。その後フォルクスワーゲングループにスカウトされて99年フアレン東京代表取締役社長に就任。2003年、BMW東京代表取締役社長を経て、05年ダイエー代表取締役会長兼CEOに。08年東京日産販売代表取締役。09年8月より現職。

「緑を育てる」

「農地を守る」

「樹林地を守る」

「緑を守る」



平成22年新年賀詞交歓会を開催

平成22年1月8日ホテル横浜ガーデンにて平成22年新年賀詞交歓会を開催した。林横浜市長を始めとして多くのご来賓の方にご参会いただき、当協会会員と賀詞交歓を行った。

## 市と一丸となつての努力

横浜市造園協会 会長 藤巻 司郎



皆様明けましておめでとうございます。  
本日はお忙しい中、林市長をはじめ大勢の皆様にご臨席いただきまして、一緒に新しい年を迎えられましたこと高い席からではございますが、御礼申し上げます。

さて、横浜市におかれましては昨年の4月に、皇太子ご夫妻をお招きして横浜動物の森公園にて第20回「みどりの愛護」のつどいを開催されました。また、10月には「緑豊かなまち横浜」の未来のた

めに「横浜みどりアップ計画」をはじめとした「緑を守り、つくり、育てる」ための多様な施策が高く評価されまして、「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞されました。お祝いを申し上げます。また、全国都市公園整備促進大会のご報告の中で「横浜市造園協会の協力もあって」とのお言葉に感謝申し上げます。

さらに皆様の大変な努力によりまして、全国で初めて「横浜みどり税」が導入されました。私どもも、大変注目されている施策が市民のために、また将来の子供たちのためにも最大限に活用されていることを実感できるよう、横浜市と一丸になって努力してまいります。

## 樹木寄贈に感謝します

横浜市 市長 林 文子



皆様明けましておめでとうございます。  
本日は横浜市造園協会の22年の賀詞交歓会がこのようにたくさんの皆様がご集まりになり大変にご盛況の中で開催されましたこと心からお喜び申し上げます。

横浜市造園協会の皆様には緑化の推進、緑地の保全や公園の整備、またこれらの良好な維持管理・運営に

対し多くのお力添えをいただいております。昨年4月の第20回全国「みどりの愛護」のつどいでは記念植樹の樹木の寄付や、花壇作り等、会場整備にもご協力をいただきました。おかげをもちまして皇太子同雅子妃両殿下ご臨席のもと盛大に執り行うことが出来ました。

また、市内各地の公園に植栽するため樹木を150本ご寄附いただきまして本当に様々な場面で、開港150周年記念事業の推進にご協力いただきました。本当にありがとうございます。

こうした皆様の活動が、緑豊かなまち横浜の実現に向けて一歩いっば大きな礎になっております。とても感謝しております。

取り組みが着実に進んでおります。この取り組みは全国的にも注目されており、50年100年先の市民の皆様が緑豊かな横浜を実感していただけるよう、本当に先人がこれをやってくれた良かったと思っております。良かっただけでいいから、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年は10月の羽田空港の再国際化、そして11月のAPEC首脳会議の横浜開催というところで、国際都市横浜の更なる飛躍が期待されます。私も一生懸命取り組みたいと思います。しかしこの取り組みが、市民の皆様様の生活また業界の皆様にとつても何の関係もない、国際会議をやつて何になるのかと、そんなことがないよう、その意義として成果というものが市内の様々な企業の活性化につながるように、私も心にとめてしっかりとやつてまいりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

山下公園をはじめとして、都心部の緑や里山の様な郊外部のまとまった緑など、横浜らしい魅力ある緑を「守り、つくり、育てる」という取り組みについてこの機会に、また皆様のご協力を得ながら国内外に発信し、それが市内の皆様のお仕事にいい影響を与えるように、取り組んでまいります。皆様が長年培われた知恵

## <会員の皆様へ> 樹木の寄贈のお礼

(社) 横浜市造園協会 会長 藤巻 司郎



第20回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会提供

先日、横浜市の機関紙に、次のような記事が載りました。

150万本植樹行動目標達成までもう一息  
開港150周年に向けて18年度から取り組んできた、市内に150万本の植樹を進める運動が、多くの市民の皆さんの協力で達成の見込みとなりまして現在「281,058本」。

我々横浜市造園協会では、150周年で150万本の成木を提供し、横浜市がそれを受け取り、公園緑地事業に活用することとなり

モデル都市ということではございますが、やはり造園協会の皆様の日ごろのご努力があつてこそですので、私も皆様と機会を作つて直接お話し合いの出来る場を設けたいと思っております。

また、新任の山田副市長を何とぞよろしくお願ひ申し上げます。山田も緑が好きですので皆様のお役に立てばと思っております。どうぞ

何なりと山田の方にお申し付けいただきたいと思っております。

終わりに、引き続き市政へのご協力をお願いいたしますとともに、横浜市造園協会様の一層のご発展と、本日ご参会の皆様のご活躍ご健康をお祈りいたしました。私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

引き続き21年度・22年度も順次公園工事、緑化工事に使用される予定となつておりますので、登録樹木をお持ちの方は、よろしくお願ひします。

社会環境や経済情勢が大変厳しい状況の折、協会事業が運営できますことは、会員企業の皆様のご尽力のお陰と深く感謝を申し上げます。

人々に潤いと安らぎを与えてくれる緑、そんな緑が失われつつある現在、緑をどう守っていくか、緑の減少に歯止めをかけることも、将来にわたつて緑の総量と質を維持・向上させ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継続していくため、一層邁進して、参りたいと存じますので、会員企業の皆様のご協力をお願い申し上げます。

# 「いきいき街路樹事業」について

## 美しい樹形を保つ

横浜市では、平成21年度から「いきいき街路樹事業」を開始しました。これは本市の「みどりアップ計画」の一つとして、同じく21年度から導入された「横浜みどり税」を充てて行うもので、高木を対象にして適切な剪定を行い、整った樹形とすることで、美しい街並



道路局道路部施設課  
街路樹担当 小林 正行

み景観を作り上げることが目的としています。

## 「みどり税の活用」も

本市における最近の街路樹管理(高木)は、予算上の制約から平均5年に1回の剪定しか出来ない状況でした。そのため、「一度剪定したら、当分切らなくて済むように」と強めの剪定、いわゆる「ブツ切り」をすることが少なからずありました(実はブツ切りは、かえって枝葉を繁茂させてしまうのですが、本市職員の認識も不足していました)。

21年度から「いきいき街路樹事業」が始まり、高木剪定の予算が上乗せされた形になったため、高木剪定は平均3年に1回行うことが出来るようになりました。剪定方法もこれまでの「ブツ切り」ではなく、自然樹形を目指した剪定を行っていきようにしました。「いきいき街路樹事業」は、新たな税金を使って行

は、街路樹剪定業務委託は確かな剪定技術を持っている人の手にゆだねたいと考えます。この点では、社団法人横浜市造園協会の方々から、最近の街路樹の「ブツ切り剪定」を憂え、「本来あるべき剪定を行ってほしい」とのご意見をいただき、心強く感じた次第です。

本市が考える適切な剪定とは、「街路樹剪定士認定試験」で問われる剪定技術と同等と考えていただければ良いかと思えます。例えば樹木の枝葉が全体にバランス良く付いているかどうかを見極め、欠けている場

## 確かな剪定技術を求めて

美しい樹形を作るために



本市(道路局施設課)主催「第1回見本剪定見学会」(H20.10.20, 中土木)で行った、講師(街路樹剪定士指導員)によるイチヨウ剪定。場所は中華街西門付近。歩道幅が狭く、比較的細い樹形に仕立てている。



本市(道路局施設課)主催「第3回見本剪定見学会」(H20.12.7, 鶴見土木)で行った、講師(街路樹剪定士指導員)によるヤマモモ剪定。場所は潮風大通り(36m道路)の鶴見川から100mほどのところ。これまであまり手が入っておらず、樹形も乱れがちだったので、今回の剪定で整えた。

## 「街路樹剪定士」の資格を

このような理由で、「いきいき街路樹事業」で行う剪定委託を受託する業者の方は、「街路樹剪定士」の有資格者がいることを条件とさせていただきます。

## より一層の技術の向上に努めて

「いきいき街路樹事業」で行う剪定は、路線を決め数年かけて樹形を整える計画ですが、将来は一般の街路樹管理事業でも「いきいき街路樹事業」と同じような剪定を行ってほしいと考えています。

美しい樹形をつくるためには、監督や検査を行う立場である本市職員も勉強

## 平成21年度 横浜市優良工事表彰(全57社)

### 横造協会員6社、技術者4名受彰

11月5日横浜シンポジアにおいて、平成21年度横浜市優良工事表彰式が行われた。適切な工事施工・施工技術の向上および施工者の意欲向上を目的として、横浜市が発注した工事を優秀な

### 受彰会員社の作品(順不同)

- ①大橋庭園(株)
- ②谷本公園南エリア整備工事
- ③佐山 五輪男
- ①(株)誠和緑化
- ②都筑処理区白根地区環境整備工事(その12)
- ③諏訪 慎二

### 受彰技術者(順不同)

阿部 耕三  
横浜植木(株)



加藤 成行  
(株)佐藤造園



佐山 五輪男  
大橋庭園(株)



長谷川 圭一  
(株)横濱緑化



- ①奈良造園土木(株)
- ②マリンタワー再生事業改修工事(3工区)(外構工事)
- ③澤 和司



- ①(株)丸孝造園土木
- ②動物の森公園アフリカゾーン
- ③東條 洋



- ①横浜植木(株)
- ②象の鼻地区整備工事(その13)(緑地整備工)
- ③阿部 耕三



# 樹木に魅せられて (第18回)

横浜緑地株式会社 石井 あゆみ

## 緑のある環境に育つ

実家が農家で、小さいころから緑に囲まれて育った環境のおかげか、大学では農学部に入り農業や緑化などを学びました。その中で、漠然と緑に関わる仕事がしたいと思うようになり、現



在造園会社である横浜緑地(株)で仕事をしています。

## 造園を肌で感じる

平成20年に入社して、1年目は丸々1年が研修期間でした。

始めは、樹木のそれぞれの特徴や剪定の仕方から庭園の石の組み方、造園としての美しさとは、といった本当に幅広い内容を教えていただきました。

何事も経験を大切だとする社風のおかげで、農学部出身で造園についての知識が無かった私にとって、とても重要な時間を経験することができました。実際に、自分自身で手を動かし樹木を剪定したり、移植をすることで、作業を監督する立場になった際、何に注意すればよいのか、何が正しいのかという自分自身のものさしを持つことができたのです。

また、公園工事の現場研



修も多くの知識を得る機会でした。入社前の造園会社の公園工事というと、樹木を植えることと思っ

ていました。入社前の造園会社の公園工事というと、樹木を植えることと思っ

現在は、八景島シーパラダイスの植栽管理を担当しています。八景島シーパラダイスはアミューズメント施設なので、お客様目線の維持管理が大切になり

## お客様目線で植栽管理を

## 小さな変化にも敏感に

地から遊具が設置され、樹木が植栽された公園が完成するまでを経験し、現在その知識がとても貴重なものだと思っています。

また、花壇でも花だけを使うのではなく、石やビーターを使用することで見て楽しい気持ちになつてもらえる花壇になるよう心がけています。



## 八景島特有の気配りが必要

また、八景島シーパラダイスは周りを360度海に囲まれた埋め立て地なので、潮風や乾燥、土壌環境といった立地条件特有の問題が常についてくるので、植物の状態を日々観察し、小さな変化にも敏感にならなければなりません。

八景島は、水族館・遊園地・公園とさまざまな面を持つ場所なので、ひとりよがりの植栽管理になることのないよう気を配りながら管理を行っていきたく

また、八景島シーパラダイスは周りを360度海に囲まれた埋め立て地なので、潮風や乾燥、土壌環境



第22回



第23回

## 横浜市造園技術交流会事業

「第22・23回工事・委託安全パトロール」開催

### 《出席者》

- 横浜市環境創造局
- 造園技術交流会幹事・事務局
- 当協会
- 安全委員会・緑の諮問委員会・技術委員会・広報委員会

### 《点検対象》

- 第22回 長浜野口記念公園ほか4公園維持業務委託(富岡総合公園)・中田ふれあいの樹林地他8緑地等維持業務委託(鯉ヶ久保ふれあいの樹林地)
- 第23回 佐江戸公園再整備工事・今川公園一部再整備工事

### 《講評》

今年度は委託及び工事の安全パトロールを行った。総体的にはいずれの現場も良好な結果であった。但し開放中の公園・樹林地の中での作業は歩行者通路の確保、作業範囲の確定、隣地への飛散防止措置等、安全管理上現場責任者は細心な注意が必要と思われる。また、過積載防止の取組については解説書を作成し、荷台の積込高さで制限するなど、是非各現場でも取り組んでいただくことをお勧めする。

### 本年度標語

「ちよつとした油断と過信が事故を呼ぶ基本を守って安全作業」

### 終わりの言葉

数年前から温暖化へ対する意識も強まり現在では様々な活動により植樹をしようという運動があります。寄付によるもの、記念植樹、横浜市では150万本植樹行動などが大きな活動になっていきます。

ある、靴屋さんでは靴が10足売れると苗木1本植樹に繋がる。また、試験管・薬さじといった一見樹木とはまったく関係の無いような物が売られるだけで植樹に繋がったりもしています。

インターネットで検索するだけで植樹・ゲームをするだけで植樹など、皆さんの何気ない生活の中に小さな植樹行動が含まれています。その小さな植樹行動の積み重ねにより大きな林となり広大な森になっていく。

この素晴らしい連鎖を積み取らないように樹木の大切さを訴え続ける広報誌でありたいと思います。(広報委員会)

よこはま花と緑の  
スプリングフェア 2010  
「花壇展」  
4月16日(金)～5月5日(水・祝)  
会場 山下公園